

教育・保育施設の「量の見込み」見直し案

この度、内閣府より、「法の施行後、支給認定を受けた保護者の認定区分ごとの人数が、～（略）～認定区分に係る量の見込みと大きく乖離している場合には、適切な基盤整備を行うため、計画の見直しが必要となる。このため、市町村は、支給認定の状況を踏まえ、計画期間の中間年を目安として、必要な場合には、市町村子ども・子育て思念事業計画の見直しを行うこと。」と定められた通知が発出されました。これにより、本市でも計画時と平成28年度実績を確認した結果、値に乖離が確認されたため、中間見直しを実施します。

見直しに当たり、内閣府より中間見直しのための『作業の手引き』が示されましたが、数年後の推計児童数を地域別に正確に見込むことが困難なこと、潜在家庭類型や利用意向率等を改めて調査するには時間・費用を要する等の理由により、本市では平成28年度の実績値等を用いた簡易な方法で、次回事業計画策定時までの見込みを推計することとします。

中間見直しの方法は、下記の手順により行いたいと考えています。

1-1 現行計画の「量の見込み」(単位：人)

【表1】

		1号	2号	3号		合計
		3～5歳	3～5歳	0歳	1、2歳	
		学校教育のみ	保育の必要性有り			
八幡中学校区	平成28年度	408	371	49	199	1,027
	平成29年度	423	386	48	196	1,053
	平成30年度	430	392	46	193	1,061
	平成31年度	433	395	45	188	1,061
八幡東中学校区	平成28年度	317	301	45	163	826
	平成29年度	329	313	44	164	850
	平成30年度	338	321	43	161	863
	平成31年度	344	328	43	158	873
八幡西中学校区	平成28年度	343	320	45	130	838
	平成29年度	341	318	45	137	841
	平成30年度	365	340	42	136	883
	平成31年度	361	337	42	132	872
安土中学校区	平成28年度	204	170	18	72	464
	平成29年度	203	168	17	73	461
	平成30年度	213	177	18	71	479
	平成31年度	207	171	17	69	464

1-2 平成28年度（平成29年3月）の実績（単位：人）

【表2】

		1号	2号	3号		合計
		3～5歳	3～5歳	0歳	1、2歳	
		学校教育のみ	保育の必要性有り	保育の必要性有り		
八幡中学校区	利用者実績	431	286	39	189	945
	就学前児童	-	-	221	479	
	利用率	-	-	17.6%	39.5%	
八幡東中学校区	利用者実績	357	252	37	172	818
	就学前児童			203	428	
	利用率			18.2%	40.2%	
八幡西中学校区	利用者実績	367	297	44	164	872
	就学前児童	-	-	165	412	
	利用率	-	-	26.7%	39.8%	
安土中学校区	利用者実績	221	153	24	87	485
	就学前児童	-	-	87	265	
	利用率	-	-	27.6%	32.8%	
計		1,376	988	144	612	3,120

2 見直し方法について

2-1 表1と表2の乖離率（平成28年度）の算定（単位：人）

【表3】

		1号	2号	3号	
		3～5歳	3～5歳	0歳	1、2歳
		学校教育のみ	保育の必要性有り		
八幡中学校区	平成28年度	106%	77%	80%	95%
八幡東中学校区	平成28年度	113%	84%	82%	106%
八幡西中学校区	平成28年度	107%	93%	98%	126%
安土中学校区	平成28年度	108%	90%	133%	121%

2-2 表3で算定した平成28年度乖離率を表1の平成29年度以降に乗じる(単位:人)

【表4】

		1号	2号	3号		合計
		3~5歳	3~5歳	0歳	1、2歳	
		学校教育のみ	保育の必要性有り			
八幡中学校区	平成29年度	448	297	38	186	969
	平成30年度	456	302	37	183	978
	平成31年度	459	304	36	179	978
八幡東中学校区	平成29年度	372	263	36	174	845
	平成30年度	382	270	35	171	858
	平成31年度	389	276	35	167	867
八幡西中学校区	平成29年度	365	296	44	173	878
	平成30年度	391	316	41	171	919
	平成31年度	386	313	41	166	906
安土中学校区	平成29年度	219	151	23	88	481
	平成30年度	230	159	24	86	499
	平成31年度	224	154	23	83	484

2-3 近年の開発状況による就学前児童見込み(単位:人)

【表5】

	分譲戸数(戸)	世帯当たり 就学前児童(人)*	増加見込み(人)
八幡中学校区	37	0.65	24
八幡東中学校区	85		55
八幡西中学校区	139		90
安土中学校区	130		85
計	391	-	254

*平成27年10月~平成28年9月分譲宅地の完了告示があり、かつ分譲戸数20戸以上を抽出(対象地区5カ所)し、乳幼児数/世帯数により、近年の分譲宅地の就学前児童の子ども割合を算出。

2-4 表5の増加見込みを支給認定ごとに按分して表4に加算

【表6】

			1号	2号	3号		合計	
			3~5歳	3~5歳	0歳	1、2歳		
			学校教育のみ		保育の必要性有り			
八幡中学校区	平成29年度	a	見込み	448	297	38	186	969
		b	開発按分	11	7	1	5	24
		c	利用率按分	11	7	0	2	20
		d	見込み計	459	304	38	188	989
	平成30年度	a	見込み	456	302	37	183	978
		b	開発按分	11	7	1	4	23
		c	利用率按分	11	7	0	2	20
		d	見込み計	467	309	37	185	998
	平成31年度	a	見込み	459	304	36	179	978
		b	開発按分	11	7	1	4	23
		c	利用率按分	11	7	0	2	20
		d	見込み計	470	311	36	181	998
	【参考】利用定員*			615	379	270		1,264
八幡東中学校区	平成29年度	a	見込み	372	263	36	174	845
		b	開発按分	24	17	2	11	54
		c	利用率按分	24	17	0	4	45
		d	見込み計	396	280	36	178	890
	平成30年度	a	見込み	382	270	35	171	858
		b	開発按分	24	17	2	11	54
		c	利用率按分	24	17	0	4	45
		d	見込み計	406	287	35	175	903
	平成31年度	a	見込み	389	276	35	167	867
		b	開発按分	25	18	2	11	56
		c	利用率按分	25	18	0	4	47
		d	見込み計	414	294	35	171	914
	【参考】利用定員*			485	261	229		975

八幡西中学校区	平成 29 年度	a	見込み	365	296	44	173	878
		b	開発按分	37	30	5	18	90
		c	利用率按分	37	30	1	7	75
		d	見込み計	402	326	45	180	953
	平成 30 年度	a	見込み	391	316	41	171	919
		b	開発按分	38	31	4	17	90
		c	利用率按分	38	31	1	7	77
		d	見込み計	429	347	42	178	996
	平成 31 年度	a	見込み	386	313	41	166	906
		b	開発按分	38	31	4	16	89
		c	利用率按分	38	31	1	6	76
		d	見込み計	424	344	42	172	982
	【参考】利用定員*				405	226	138	769
安土中学校区	平成 29 年度	a	見込み	219	151	23	88	481
		b	開発按分	39	27	4	16	86
		c	利用率按分	39	27	1	5	72
		d	見込み計	258	178	24	93	553
	平成 30 年度	a	見込み	230	159	24	86	499
		b	開発按分	39	27	4	15	85
		c	利用率按分	39	27	1	5	72
		d	見込み計	269	186	25	91	571
	平成 31 年度	a	見込み	224	154	23	83	484
		b	開発按分	39	27	4	15	85
		c	利用率按分	39	27	1	5	72
		d	見込み計	263	181	24	88	556
	【参考】利用定員*				315	140	80	535
全市(計)	平成 29 年度	見込み	1,515	1,088	143	639	3,385	
	平成 30 年度	見込み	1,571	1,129	139	629	3,468	
	平成 31 年度	見込み	1,571	1,130	137	612	3,450	
	【参考】利用定員			1,820	1,006	717	3,543	

端数の関係で表 5「増加見込み（人）」と一致しません

*参考は H29 年 5 月時点の学区ごとの教育・保育施設の利用定員の合計

【参考】

当初計画の「量の見込み」と大きく乖離している考えられる要因

- ①H25年度に実施したニーズ調査の結果に基づいて保育の需要を算出したが、実績として見込みほど保育需要は伸びなかった。
- ②計画を策定した平成26年度の開発状況を参考に平成31年度までの就学前児童数を推計したが、その後分譲宅地の開発地域が偏ったことにより、中学校区別に見込みの乖離が生じた（社会増減）。

見込みから減った学区 八幡中学校区

見込みとほぼ横ばい 八幡東中学校区

見込みから増えた学区 八幡西中学校区、安土中学校区